

(別添資料1)

事業所名		児童発達支援 ポムリエ		支援プログラム（児童発達支援）		作成日		R7	年	3	月	1	日
法人（事業所）理念		共に歩み、共に遊び、共に育む。 スタッフは利用児童と家族様の道標と成るべく、日々療育力を向上させる。											
支援方針		・ 集団療育では、少人数集団で遊びを中心にした活動を行い、対人関係の不安を軽減したり、玩具や遊具を使い、体幹を鍛えます。 ・ 個別療育では、個々の課題に合わせたさまざまな活動や遊びを通し、「できた！」という自信や達成感を育み、自己決定ができるよう支援を行います。 ・ 音楽療育では、音楽が持つ力を活用して歌を歌ったり、楽器を鳴らしたりすることで、脳の活性化や集中力を高めます。またリズムに合わせて身体を動かすことで、気持ちの発散ができるよう支援していきます。 ・ お子さんの困りごとを聞いたり、保護者の思いに寄り添い、一緒にお子さんの成長を見守っていけるよう支援していきます。											
営業時間		9	時	30	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無		あり	なし
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・ 絵カードやタイマー（気持ちの切り替え）等の視覚支援を活用し、身の回りの始末や水分補給、片付けなどを通し、自立していけるよう支援していきます。 ・ 入退室時に消毒や検温を促すことで、感染症対策を身に着けていけるよう支援していきます。											
	運動・感覚	・ 発達や子どもの状態に応じた感覚遊びや運動遊びを通し、運動能力を高めたり、感覚調整力が育んでいけるよう支援していきます。 ・ 好きな遊びを通して、十分に身体を動かすことでストレス解消（気持ちの切り替え）に繋げていけるよう支援していきます。 ・ 楽しい雰囲気の中で、苦手なことに挑戦したり、経験が出来るよう支援していきます。 ボール遊び、サーキット、バランスボール、ジャングルジム、ボルダリング、絵合わせパズル、魚釣り、しっぽ取り、ボールプール、ゾインゴボインゴ、体幹すごろく、縄跳び、鉄棒											
	認知・行動	・ 好きな遊びを通して考える力をつけ、工夫や展開ができるよう支援していきます。 ・ 困ったときには、支援員と一緒に問題解決方法を練習し、認識力や行動力が育むよう支援していきます。 ・ 絵カードやイラストを見ながら、ゆっくりと伝えることで言葉と物の認識ができるよう支援していきます。											
	言語 コミュニケーション	・ 絵カードやごっこ遊びを通して、言葉のやり取りや正しい言葉を知らせる中で、コミュニケーション力が育っていけるよう支援していきます。 ・ 知育玩具を通してごっこ遊びをする中で、売り手や買い手になり、支援員と楽しみながら他の友達も一緒に参加していけるよう支援していきます。 ・ 「だるまさんが転んだ」等の簡単なゲーム遊びを通して、相手の話を聞く力を身に付けていけるように支援していきます。											
	人間関係 社会性	・ 触れる、聴く、歌うなどのコミュニケーションを通して、社会性を高めていけるよう支援していきます。 ・ 支援員が友達のそばで遊ぶように促したり、仲立ちをしたりして友達に興味を持てるように支援していきます。 ・ 支援員や友達と挨拶を交わしたり、トラブルの時には相手の気持ちに気づいていける機会を作り、対人関係が育つよう支援していきます。											
家族支援		・ 定期的に家族と連携を図り、支援方針について情報提供を行います					移行支援		・ 就学に向けての相談、情報提供 ・ 家庭・保育園幼稚園・他事業所との連携				
地域支援・地域連携		・ 医療・福祉・教育の連携					職員の質の向上		・ 会社全体学習会（年4回） ・ ヒヤリハット分析、報告会 ・ 法定研修(虐待防止、感染症予防) ・ ケーススタディ（事例検討）への取り組み				
主な行事等		現在、行っていません											